

町民の声への対応状況

令和3年1月受付分

受付月日	項目	意見の概要	対応・取り組み状況	担当課
1月4日	風車の耐用年数について	元鉄鋼技術者です。風車が耐用年数を迎えると言われますが、どの部分に耐用年数がありますか？その部分だけ取り換えれば良いではありませんか？設備メーカーに騙されていませんか？ 一般の企業ではメンテを行い、バスタブ曲線に従う磨耗故障を防いでいます。信じられません。然るべき技術コンサルを受けて下さい。勿体ない。	風力発電施設の耐用年数（減価償却期間）は、電気業用設備のその他の設備（主として金属製のもの）の17年としています。 耐用年数到達により故障のリスクが増加すると考えていますが、直ちに使用できなくなるとは考えていません。	環境エネルギー課
1月15日	白ネギの雪害支援について	雪害による農作物（白ネギ）被害に対する援助について要望させていただきます。 昨年末から数回にわたり多大な降雪や強風が発生して町の特産物である白ネギがダメージを受けてしまいました。葉っぱが何枚も垂れたり折れたり、軟白部分が曲がったりしてしまい、JAの出荷基準に合わないものが大量に出来て、出荷できずに山積みとなっており廃棄処分等しています。JAも出荷基準（レベル）を下げて出荷できるように市場等に対して頑張って交渉されている状況ですが、しかしながらレベルダウン以上に白ネギのダメージがひどく	JAの出荷基準（レベル）のレベルダウン以上にダメージがひどくて出荷できないものが多いとのことですが、出荷しないことには野菜価格安定補償の補填も受けられないので、まずはJAと出荷基準の設定について今一度協議いただけないでしょうか。県西部でも同様に白ネギの被害が発生しており、そちらは、品質に影響は無く、寒さにさらされたことで、かえって甘みが増した「雪かぶりネギ」として関西地方などに販売されているそうです。	産業振興課

		て商品として出せられないものばかりです。 地域振興の一助として頑張っている町内の農家（白ネギに限らず）のためにも少しでも良いので援助金（見舞金）等の活用を考えていただけないでしょうか、何卒宜しくお願いいたします。	雪害規格の農産物を売り出すための販促費用については県の事業で1／2補助の事業もありますので、個人では活用しにくいでしょうが、生産部やJAとして取り組むものについてはうまく活用いただけたらと思います。	
1月18日	窓口対応について	本日、他町より除籍をもらいに来ました。資料を提出しているにもかかわらず確認が必要との事で、どこまで何を確認されるのか、理由もいわれず、長時間待ちました。 私は相続人の一人であるとは確認できると思われる資料から、更に持っているものをすべてあずけています。なぜ自分の叔母の戸籍をもらうのに長時間待たなければならないのかわかりません。きちんとした説明をあらかじめしていただき、何故時間がかかるのか教えるべきではないでしょうか。待っている方は次の予定もあるのに、キャンセルです。 窓口での確認書類を見せたものすべてをコピーするのは、このペーパーレスの時代におかしいと思います。対応した職員が確認して記載すればよいのではないのでしょうか。私の持ってきた重要書類を簡単	戸籍の交付をお待たせしてしまいました、大変申し訳ありませんでした。戸籍は、直系血族以外の方が請求される際には、請求理由や相続関係などを確認させていただく必要があるため、交付に時間を要する場合があります。 また、請求理由や相続関係、戸籍を必要とするお手続きなどの確認のため、ご持参された書類の写しをとらせていただく場合があります。 このたびは、そのような説明が分かりやすくきちんとできていなかったことをお詫びいたします。改めて窓口職員に周知し、丁寧な窓口対応を心がけてまいります。	町民課

		にコピーするのはやめてほしい。		
1 月 29 日	広報等の配布物について	今月、広報北栄 2 月号の配布当番に当たりました。この配布は地域民が順番に担当になり、各家に配布を頼まれています。 そもそも論、この配布は行政サービスの一環であるはずです。それを何故、町民自身が担当しているのでしょうか？	町の財源は限られており、配布に要する経費の節減が必要です。また、自治会にも自治会運営費の確保の課題もあります。このため、すべての自治会に配布をお願いしているものです。 ご理解、ご協力をお願いいたします。	総務課